

令和3年度 第1回土佐清水市総合振興計画等検討会議 概要

日 時：令和3年11月26日（金） 13時30分～15時

場 所：土佐清水市役所 3階 議会会議室

出席者：別紙のとおり

説明者：農林水産課、観光商工課、企画財政課、健康推進課、こども未来課、生涯学習課、国立公園*ジオパーク推進課

事務局：企画財政課長 横山英幸、企画財政課長補佐 竹池亮、政策企画係長 新谷麻子、主事 山崎立志

会議概要（要約）

【会議次第】

1. 開会
2. 委員長挨拶
3. 委員自己紹介

4. 議事

①第2期 土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

■令和2年度取組の実績、令和3年度取組状況中間報告

○農林水産課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（酒井委員）

・6ページの森林経営管理調査面積率について、率は（中間報告資料に）出ているが対象面積はどのくらいか。

（和泉課長）

・今のところ、本課で個人が所有する土地を想定しており、概ね2,360haが対象面積となっている。そのうち、現在までできているのが495haということになる。それで、21%と算定している。

（酒井委員）

・今後、意向調査を発送し240人に対して調査を行い、（調査を）実施した中で実際事業を行えるところはあるか。

（和泉課長）

・事業を行えるところはあるが経営計画がないところが主で、（事業をやることはできるが、）なかなか補助金を使うのは難しいのではないのかと考える。市の方で環境譲与税を使って、市の独自のメニューを作っているの、よろしければそちらを利用し未整備森林の整備にご協力いただければと思う。

（酒井委員）

・環境譲与税の目的が未整備森林を整備するということで、災害防止という観点もあるので、できれば災害

が起きそうな所については早くやっていただければ。それから、未整備森林も含めて山林は境界の確定が難しく、その費用についても環境譲与税を使ってやってもいいとなっている。なかなか（国土調査が）進みにくいこともあり、国土調査について清水は達成率が低いので環境譲与税を使って山の境界確定をすることで、国土調査も早くできる。協力しながら進めていただきたい。

（磯脇委員）

・国土調査は従来から宅地を中心に調査を行ってきた関係で、面積が進んでいないのが現状となっている。現在の地域からの要望があったところから順次やっているため、山林はなかなか厳しい。今は一括事業で調査もできるようになっているため、所管課と協議しながら、面積の推進に取り組んでいく。

○観光商工課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（土居委員）

・新型コロナウイルス感染症の影響により観光業については非常に厳しい状況が続いているが、皆さんの努力および市役所の取り組みにより（報告があった実績）これだけの数値で収まっている現状がある。来年度についても、引き続き手を取り合って取組を行っていただきたい。

○企画財政課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（酒井委員）

・21 ページの婚姻数については清水市全体の数字か。

（横山課長）

・そうです。全体の数値となっている。

（酒井委員）

・バスタクシーチケットについては、免許証返納者に対して交付されるものか。

（横山課長）

・そうです。免許証を返納した人が交付申請に来庁し、その際に手続きを行っている。

○健康推進課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容（要旨）】

（畠中委員）

・清水小学校のフッ素洗口は、コロナの関係で休止になっているということだが、要因というのは病院がなかなか難しいのか、もしくは学校側の受け入れがきびしいということか。

（山下課長）

・清水小学校がフッ素洗口をするのにマスクを取って行うというのに不安があるということで、中止になっている。給食の時にもあまり喋らないようにして、注意して食事をとっているという状況で、なかなかフッ素洗口時も怖いなという思いが学校側にあるみたいだ。歯科医の先生からも（取組に対して）、どのように行ったらできるか話し合いをしているところである。

(畠中委員)

- 他の小学校はできて、清水だけできないというのは何か。

(山下課長)

- (清水小学校は)人数も多い。しかしながら、前向きに実施に向けて取組みを行っていききたい。

○こども未来課より資料を基に説明

○生涯学習課より資料を基に説明

○国立公園*ジオパーク推進課より資料を基に説明

【質疑・意見交換内容(要旨)】

(酒井委員)

- ビジターセンターについては、水族館を利用した人が来るのか。ビジターセンターだけに来るのか。

(猿田係長)

- 今までは(建物前の)駐車場が整備できていなかったため、工事中のようにとらえられていた。現在は、SATOUMI から来られる人が多い。

(酒井委員)

- 一体感を持った取組みを行っていただきたい。

(田中委員)

- 防災ツアーの開発とはどのようなものか。

(猿田係長)

- 4月に着任した専門員がもともと防災に関わっており、地質・地形は当時の何千年前の地層を見ると当時の災害の様子に分かるそうで、その地層を見ながら単に楽しむだけツアーでなく学べるツアーというコンセプトのもと行うようになっている。

②第2期 土佐清水市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について

1 ページ、3 ページについては、各課長より説明があった令和2年度の実績に伴う目標値の変更となる。2 ページについては、「竜串エリア再開発の推進」について、現在、道の駅めじかの里土佐清水の実施設設計を行っており設計を行う中で施設規模等の概要が固まってきたおり、それに合わせて設計値により目標値を更するもの。また、道の駅めじかの里土佐清水 雇用者数については、道の駅整備事業計画作成の中でKPIを新たに追加する必要があったため、今回追加するもの。4 ページは「確かな学力の定着と自立する力の育成」の全国学力学習調査に係るKPIについて平均を表す文言を訂正するもの。

5. その他

○事務局より

次回は、今年度事業の実績見込み報告に基づく検証等を行うため、2月～3月にかけて開催予定となっている。

【閉会】